

2024年度 シラバス原簿						タイトル		講義内容と事前事後学習内容	
科目名 英語名	大学院特別講義「日本と世界」 Lectures of special courses of Graduate School ～In Japan and The World～					1 週	ガイダンス	事前 2.5hr	シラバスの内容を読んでおく。自分が千葉工業大学に入学し、学ぼうと思った動機を振り返り、まとめておく。
	科目 担当者	小宮 一仁						事後 2.5hr	授業、講師、成績判定の方法等を説明する。後半は、創立時の社会的背景を含めて千葉工大の創立の意義・目的を解説し、現代における千葉工大の役割と、そこで学ぶ意味を考察する。 【講義担当:小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)
開講学期		時間数	単位	科目の区分	曜日時限	履修制限	2 週	政府の施策の問題点を考える	事前 2.5hr
	事後 2.5hr								財政の基本的な仕組みを理解した上で、日本の財政制度、予算制度や財政の現状を諸外国、主に米英と比較する。そして、新型コロナウイルス感染症に関連した政策の有効性等について考察する。 【講義担当:田代政司特別教授(元会計検査院事務総長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(対面)
5・7学期	2	2	選択	木曜日7-8限	特になし	3 週	少子化の進行や原因を理解した上で対策を採る	事前 2.5hr	令和4年度の日本の少子化対策に関連した予算について調べて、まとめておく。
目的	【目的】 大学院生の知識・教養を高めるとともに、グローバル化した世界における社会問題・時事問題の背景や本質を理解し、問題解決のための考え方、手法を知ることによって、問題解決能力を向上させることを目的とする。	【授業概要】 学事顧問及び特別教授が、社会問題・時事問題の事例を取り上げ講義を行う。講義に関連して、問題解決のための課題を出題し、課題を解くことによって問題解決能力の向上をはかる。	課題解決型	<input checked="" type="checkbox"/>	4 週	情報化社会・グローバル化社会の中の日本(1)	事前 2.5hr	日本の国民一人当たりのGDPの国際順位の変遷について調べて、順位の変化の理由について	
			グループワーク	<input type="checkbox"/>			事後 2.5hr	国際競争の激化に伴い企業は積極的に生産拠点を海外に移転を進めている。また、労働力人口全体の減少に加えて、海外生産の増加や業績不振に伴う人員削減により、国内の製造業の就業者数は一貫して減少しているこのような日本の現状を講義し、日本の科学技術の課題について教授する。 【講義担当:小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)	
注意事項・ 学習アドバイス	※対面形式とオンデマンド配信を併用します。対面形式の授業かオンデマンド配信の授業かは、現在の予定を講義内容の欄に記載してありますが、変更がある場合は前回の授業終了までにお知らせします。 ※この科目は寄付講座ですので、担当講師は千葉工業大学学事顧問及び千葉工業大学特別教授となります。講義に関するお問い合わせは、教務課に連絡して下さい。 ※授業週の順番、講師、テーマ、対面・オンラインの授業形式は変更になる場合があります。変更の場合は事前に連絡します。					5 週	情報化社会・グローバル化社会の中の日本(2)	事前 2.5hr	第4次産業革命によって世界は大きく変化したといわれています。特にICTの発展により、人々の働き方に大きな変化が生じている。ここでは、現在、また将来の、人々の働き方の変化について講義し、日本における課題について考察する。 【講義担当:小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)
								ディスカッション	<input checked="" type="checkbox"/>
到達目標	・自分が学んでいる専門分野について、日本と世界の動向を結びつけて考えることができる。 ・自分が学んでいる専門分野について、日本が世界と強くなっている具体的な一例をあげて、説明することができる。					6 週	日本の海洋政策について考える	事前 2.5hr	日本の国際物流について調べ、まとめておく。
								ディベート	<input type="checkbox"/>
評価基準	各講義担当者から授業に関連する調査や考察に関する課題が出題される。これらの課題の解答を提出する必要はないが、授業最終週にこれらの課題に関連した提出の必要のある総合課題を公開程度出題し、提出された課題の解答の得点によって成績を評価する。なお、対面授業の場合は授業に関連する課題を授業中に提示あるいは配布するので授業に出席すること、オンデマンド形式の授業の場合は授業動画ファイルと共に課題のファイルを送信する。					7 週	東アジアの歴史的国際秩序ー中国をどう理解するか。ー	事前 2.5hr	世界の4大古代文明のひとつが生まれた中国。その後東アジアにおいてガリバー的な地位を保ってきた中国と近隣諸国との関係の歴史を解説し、現代の中国を理解するために必要な知見を講義する。【講義担当:横井裕特別教授(元トルコ共和国・元中華人民共和国駐館特命全権大使)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)
								プレゼン	<input type="checkbox"/>
関連科目	なし					8 週	国際社会を規律する国際法とは?	事前 2.5hr	国際法の基本原則について調べ、まとめておく。
								フィールドワーク	<input type="checkbox"/>
参考書・参考資料等	必要な場合は授業で提示する。					9 週	国際の平和と安全の維持	事前 2.5hr	ウクライナ問題で見た国際法の限界について調べ、まとめておく。
								事後 2.5hr	国連、国際司法裁判所など国際社会の平和と正義の維持の装置の内容とそれらの機能の限界を知り、「今」の不安定な国際社会をどう日本が生き延びていけるのかを考える。同時に現在進行中のロシアのウクライナ侵攻など現実起こっていることと重ね合わせて、「平和」の問題を検討する。 【講義担当:清水武則特別教授(元モンゴル国駐館特命全権大使)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(オンデマンド)
10 週	鬼滅の刃と日本文化(1)	事前 2.5hr	鬼滅の刃を知らない人は調べて、知っている人は日本文化との関係について考えておこう。						
		事後 2.5hr	古来、日本では社会における相対悪を鬼に仕立て、社会から排除することが行われてきた。この相対悪は、時代の権力者に反抗する勢力や人物であることが多い。これは、西洋における魔女狩りにも通じることである。講義では鬼滅の刃を題材にして、日本文化における鬼について問う。 【講義担当:土屋恵一郎特別教授(前明治大学学長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】						
11 週	鬼滅の刃と日本文化(2)	事前 2.5hr	現代社会における鬼の正体について考察する。 【講義担当:土屋恵一郎特別教授(前明治大学学長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(対面)						
		事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。						
12 週	日本の大学と欧米先進国の大学	事前 2.5hr	入試から、大学での授業、大学生活を振り返って、それが自分の将来に役に立つかどうかを考察し、インベーションを生み出す人材を養成する大学、日本と欧米先進国の大学の違いについて、工学教育を例に紹介し、世界を相手に仕事をするためのヒントを教授する。 【講義担当:小宮一仁教授(前千葉工業大学学長)】(対面)						
		事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。						
13 週	東アジア情勢と日本の政治の行方	事前 2.5hr	マスメディアの役割について調べて、まとめておく。						
		事後 2.5hr	日々刻々と変化する政治情勢やそれを伝える報道の基本的な仕組みについて特に日本を含む東アジアの情勢について講義する。また、世界の中で日本が置かれている状況や、日本の政治に求められている役割についても触れる。さらに、最近の政治情勢についてディスカッションを行う。 【講義担当:石橋文登特別教授(元産経新聞社編集局長・政治部長)、小宮一仁教授(前千葉工業大学学長)】(対面)						